

平成30年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
1	九鬼	病院経営について、周辺地区(紀北町、熊野市など)の協力を依頼できないのか？	尾鷲総合病院は、尾鷲市が設置し運営する市立病院であることから、病院経営に係る直接的な経費を他の地方公共団体に負担を求めることは、現状では困難な状況ですが、大きな懸案事項の一つとして、今後、広域的に協力いただけるように、前向きに策を講じていきたいと考えております。なお、紀北町からは、紀北管内の医療行政の一環である救急医療業務の円滑な運営を行うため、救急医療体制事業負担金(2次救急医療分)として、毎年約1600万円の負担をいただいております。	尾鷲総合病院
2	九鬼	公衆トイレの計画はどうなったのか？	外湾漁協トイレを使用することができないか検討していましたが、建設時に補助金が使われており、現時点では公衆トイレとして使用することが難しいことから、様々な観点から地区内の既存トイレの活用等を含め検討しております。	商工観光課
3	須賀利	可能な範囲で職員人件費の削減、見直しを。	職員人件費につきましては、平成29年度決算では13億6千977万1千円となっておりますが、平成19年度と比較しますと、職員数で31名、人件費で3億7千590万5千円の削減に取り組んでおります。また、人口1万人当たりの職員数も近隣5市町の中で最も少なく、臨時職員においても同様となっておりますが、人口減少が続く中、職員定数については住民の福祉の増進につとめるとともに、最小の経費で最大の効果を上げるよう検討してまいります。	総務課
4	須賀利	台風被害を受けた林道の復旧を急いで欲しい。復旧はいつ頃になるのか。	10月31日の臨時議会で補正予算が議決されましたので、速やかに工事を発注し、復旧を進めたいと考えております。工事は11月末に発注します。	水産農林課
5	須賀利	矢口へ抜ける林道について、2期やってもらったが継続して予算化してもらいたい。	平成30年度も施工予定しており、平成31年度も継続して予算要求していく予定であります。	水産農林課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
6	須賀利	ふれあいバス始発の尾鷲総合病院行に対応した帰りのバスを走らせて欲しい。	公共交通体系を維持継続するには、地域の実情や事業の採算性を勘案し、より多くの人々が利用しやすい、効率的で効果的な運行体系の構築が重要です。現在の須賀利地区線におけるふれあいバス1便あたりの乗車人数を勘案しながら、1日の運行便数の調整も含め、今後検討したいと考えます。	政策調整課
7	須賀利	中心部の方にも避難路を要望しているが、公衆トイレ裏の避難階段の完成を急いで欲しい。	南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中で、発災時には避難しなければなりません。そのための整備された避難路が必要であり、各地区一箇所ずつ整備を進めており、今年度は、須賀利地区では公衆トイレ裏の避難階段の整備をいたします。着実に整備を進めて参ります。	防災危機管理課
8	曾根	平成26年度からお願いしている、311号線内側からの排水の整備の根本的な対策を。	従前から排水清掃などで対応致しておりますが、引き続き検討を致しております。311号線を地中横断している為、整備には大きな費用が必要になることと、海面上昇などによる自然現象も重なり、排水が流れていかない事象が発生している可能性が考えられ、抜本的な対策には時間を要する為、ご理解ご協力をお願いします。	建設課
9	曾根	飛鳥神社の大楠(県の天然記念物指定)が台風等により倒れる恐れがあるので何とかして欲しい。	天然記念物を含む文化財の維持管理等につきましては、原則として、その所有者に管理責任があり、また、文化財の現状変更にあたっては、事前に監督庁の許可が必要であるため、飛鳥神社樹叢では三重県の許可が必要となっております。 市による対応といたしましては、大楠が倒れることで樹叢を損なうことを防止する措置や人命等に関わる危険性を除去・低減する措置など、所有者が行う措置に関して、県の許可を得るにあたっての手続き等に係る助言・相談及び、活用可能な国等の補助制度の有無の確認・情報提供などとなります。	生涯学習課
10	曾根	集落支援員が買い物支援、通院支援などに直結するような事業効果があるのなら、曾根町でも導入して欲しい。	集落支援員事業は、地域の課題の解決に向け住民と行政の協働のもとに、地域住民が自主的な活動で課題を解決することができる仕組みづくりを行うものです。そのためには、地域全体の協力体制の確立が重要であり、地域の協力なくして解決は図れないことから、導入に当たっては、まず、区役員をはじめ地域住民の皆さまを対象に、担当職員が集落支援員制度の説明をさせていただき、曾根町で導入するかどうか相談させていただきたいと思っております。	市民サービス課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
11	曾根	木質バイオマスは中電が事業主体になるそうだが、具体的な計画や見通しはあるのか？	現在、おわせSEAモデル協議会において、会員である中部電力が、エネルギー部門の検討を進める「プロジェクトE」のリーダーを務めております。ご質問である木質バイオマス発電についても、事業化について検討を進めているところであります。	政策調整課
12	曾根	曾根区として市と埋立地の草刈りの契約はしているが、空き缶、錘、釣り糸なども区が整理している。来年からよその業者が入れば、草刈りだけで終わる可能性もあり、ゴミが散乱する心配がある。市の管理なので対策をきっちりやってもらいたい。	埋立地については空き缶、錘、釣り糸やゴミ等も含めて管理していきたいと考えております。	水産農林課
13	曾根	「埋立地」という表現をやめて「〇〇公園」等にしてもらいたい。	現在の埋立地は漁港施設用地として登録されているものであるため、「〇〇公園」とすることは考えておりません。	水産農林課
14	行野	定置網の後継者が不足している。漁師の魅力を発信して後継者を育成する等の漁業振興施策を。	漁業後継者・担い手対策としましては、定置網漁業を中心とした尾鷲市漁業体験教室の開催や漁師塾への運営支援などを行うとともに、都市部での漁業就業フェア等を活用した情報発信などに取り組んでおります。今後も漁業者、漁協など関係者の方々と連携しながら担い手の確保、育成を図ってまいります。	水産農林課
15	行野	総合病院の看護師(特に4階)の患者対応が悪い。	尾鷲総合病院では定期的な職員研修の実施や患者さんからいただくご意見を全職員で共有することにより、接遇改善等に取り組んでおりますが、今回いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も、より一層の接遇等の改善に向けて取り組んでまいります。	尾鷲総合病院
16	行野	今年のふれあいバスのダイヤ改正により不便になった。天満等は利用者がほとんどいないと聞く。	公共交通体系を維持継続するには、地域の実情や事業の採算性を勘案し、より多くの人々が利用しやすい、効率的で効果的な運行体系の構築が重要です。対象地区の利用状況や、他地区の意見も聞きながら検討していきたいと考えます。	政策調整課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
17	行野	急傾斜地(旧小学校付近)崩落対策について、要望済みだが回答が遅い。	昨年度に行野浦区から要望書を頂き、三重県に進達文書で要望を上げ、今年度から新規要望として三重県に、尾鷲市からの要望書に追加提出しております。三重県の予定工事に追加されるものと思われませんが、着手には時間を要するものと考えられます。引き続き要望を行って参ります。	建設課
18	行野	津波避難所の整備を。	本市における避難所の指定は、既存施設を利活用することとしております。	防災危機管理課
19	行野	旧小学校敷地内の桜の木の台風による影響が心配される。伐採して欲しい。	どのような状態になっているのかを確認するとともに、区長などの地域の代表者の方と今後の方針について協議いたします。	建設課
20	賀田	賀田湾廃船問題について、土壌処理等最終的な整理はしてくれるのか？	三重県からは、今回の代執行手続きの中で廃棄物等が混じった物揚場の土砂についても、船舶引き上げや解体、搬出作業の終了後に適正に処分すると聞いています。	建設課(県)
21	賀田	90歳近い独居老人が総合病院に救急搬送された時、1晩だけでも入院させてほしいとお願いしたが断られた。臨機応変に対応してもらえないのか。	入院については、治療のため医師が入院加療が必要と判断した場合に限られます。救急外来を受診され、帰宅可能患者と診断された場合には、入院加療をおこなわないことが医療法上の原則となりますが、医師の診断後に、帰宅後のご自分の体調に不安があるなどの場合は、対応について検討いたします。 なお、深夜等に救急を受診され、帰宅されるまでの待ち時間がある場合や悪天候の場合などにご利用いただける「患者さん待合室」を外来棟1階に設置しております。	尾鷲総合病院

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
22	賀田	中電跡地における嵩上げ予定の高さは低いのでは。	災害対策については、関係5市町で施設の構造や嵩上げなど、どのような対策を要するか、今後、十分に協議して施設の安全対策を講じていきます。	環境課
23	梶賀	旧道のトンネル内が暗いため歩行者が危険。もう少し照明を強くして欲しい。	電球の明かりを調整し対応致しました。なお、本市では、交通安全上支障のない範囲で、節電対策や維持管理経費の削減のための道路照明施設の一部消灯を行っていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	建設課
24	梶賀	旧梶賀小学校の今後の活用見込みはあるのか。	梶賀小学校は、明治11年に建設され、平成10年に児童数の減少に伴い賀田小学校に統合されました。現在、梶賀小学校グラウンドは、津波発生時の緊急避難場所として指定しておりますが、校舎の利活用については、老朽化が著しく、活用に伴う費用対効果を踏まえると、非常に厳しい状況であります。	教育総務課
25	梶賀	LDビバレッジ尾鷲工場の再稼働の見込みはいつ頃か。	LDビバレッジの親会社ライフドリンクカンパニーと深層水事業の再稼働について交渉中です。現時点では再稼働の見込みについて不透明ですが、再稼働に向け粘り強く交渉してまいります。	商工観光課
26	梶賀	賀田小学校の統合後の校名は。いつ頃決まるのか。	三木小、三木里小学校を閉校とし、賀田小学校に統合するものであり、学校名の変更はありません。	教育総務課
27	梶賀	ふれあいバスについて、尾鷲駅へ入るルートよりも直接瀬木山へ向かう従前のルートの方が便利だった。	従前のルートの方が便利だった、ということにつきましては、優先順位を考慮しながら、今後検討していきたいと考えております。また、終点が尾鷲駅、ということにつきましては、交通の結節点である尾鷲駅に集約することにより尾鷲地区線やJR紀勢線も含め、より広範囲の移動が可能になることと考えたためであります。尾鷲市街地等へのご移動に関しましては、尾鷲駅で下車後、ふれあいバス尾鷲地区へお乗換え頂きますよう、お願いいたします。	政策調整課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
28	梶賀	ふれあいバスについて、名柄、賀田中奥へのルートは不便。利用者はいるのか。	公共交通体系を維持継続するには、地域の実情や事業の採算性を勘案し、より多くの人々が利用しやすい、効率的で効果的な運行体系の構築が重要です。対象地区の利用状況や、他地区の意見も聞きながら検討していきたいと考えます。	政策調整課
29	賀田	スクールバスを地域住民が利用できるようにする検討は進んでいるのか。	スクールバスの運行に関しては、へき地児童生徒援助費等補助金を活用して整備したものであり、原則、学校教育活動における利用に供するものであります。 また、当該補助金に係るスクールバスの住民利用に関する承認要領では、住民利用に供する場合は、交通機関のない地域等の住民に係る運行であることと定められており、尾鷲市ふれあいバスの運行路線と重複することから、有効活用ができる仕組みについて研究・検討してまいります。	教育総務課
30	天満	台風などの災害後、舗道に落ちている木の枝等が邪魔で歩けないところがある。市道に白線が引いてあっても舗道の線が消えている箇所があるので何とかして欲しい。	御迷惑をお掛けしまして誠に申し訳ございません。市内各所で同じ事象が発生している為、対応が遅れたことについては申し訳ございません。ご理解ご協力をよろしくお願い致します。また白線が消えている場所の確認を致したいので、場所をお示しくださるようお願いいたします。	建設課
31	天満	ビオラのところの県道の雑草がひどい。何とかして欲しい。 ※尾鷲神社前道路、坂場銀杏町線	三重県管理道になりますので、報告しておきます。	建設課(県)
32	天満	擁壁の所で側溝の蓋のない所があり、予算ができれば・・・と言って20年たっている。側溝に落ち葉が溜まるので、酒屋をしていたのでお酒のケースで蓋をしている。急傾斜地対策でもらったので、県にどうにかしてもらいたい。	現場を確認致しました。側溝蓋を設置が必要な箇所が広範囲に亘ることから、直ちに対応が困難である可能性が有りますが、再度県へ要望いたします。	建設課(県)
33	天満	火力発電所廃止に伴いシーバースなどの電気等が全部消えた場合、防犯上心配なため対策を考えて欲しい。	おわせSEAモデル協議会において、あらゆる検討を進めており、ご質問である防犯上の面においても、検討させていただきます。	政策調整課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
34	天満	郵便局の四つ角は傷みが激しく、舗装がデコボコして通りにくい。脇の浜、長浜もデコボコしていて単車で通ると怖い。	御迷惑をお掛けしまして誠に申し訳ございません。郵便局の四つ角は尾鷲市管理道なので、今後検討し対応していきます。脇の浜、長浜については、三重県管理道になりますので、報告しておきます。	建設課
35	天満	五条の下も葉がいっぱい落ちていて、道路が汚い。これまでは年に1度位掃除に来てくれていたが、今は何も来てくれない。そんなのはどうしたらよい？	自治会長様と現場確認を行っており、現在、土地所有者と協議を行っております。引き続き対応を行っていきます。	建設課
36	倉ノ谷	6月の大阪府北部地震を受けて、民間のブロック塀の倒壊に対する市からの補助金等、市としての対策は何かあるのか。	地震発生時には耐震性のないブロック塀が被害を発生させることがあることから、補助メニューはございませんが、防災講話等で危険性の周知を図るとともに、地域の方々や各学校での取り組みとしてタウンウォッチングを実施し、生活道路や通学路の危険な個所としてブロック塀を把握するなどして、被害の軽減を図る取り組みを実施しております。	防災危機管理課
37	倉ノ谷	町内の市道で私有地の関係で狭い箇所があるので不便で危険。市から要望してほしい。	現在、拡幅ができるように、私有地の方の協力を得て、協議を進めております。今しばらくお待ちくださるようお願いいたします。	建設課
38	倉ノ谷	市営住宅の管理が十分でない。草刈りもしていない箇所あり。台風で破片が飛散したので対策を。	平成30年の台風では、近隣にお住まいの方にはご迷惑をおかけしました。台風後に空き家となっている住宅の確認をし、ガラスの破損や雨戸の破損があったものには、コンパネを打ち付けるなど再発を防止いたしております。	建設課
39	倉ノ谷	老朽化した市営住宅等は整理して売却すべき。	老朽化した市営住宅は、平成29年度に策定した尾鷲市営住宅長寿命化計画に基づき、用途廃止などを実施し集約化を目指します。除却し売却に至るまでには時間がかかることが予想されますが、鋭意事業を推進してまいります。	建設課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
40	倉ノ谷	広域ゴミ処理施設は津波の被害を考えると山側に整備すべき。	用地の選定においては、中部電力から将来的に産業の振興等に繋がる街づくりを市と共同でできないかという提案をいただいた中で、本市として、施設を整備するにあたり十分な面積が確保できること、市民の皆さまがごみを持ち込みやすくなること、新たな産業の創出や雇用の拡大が期待できることなど総合的に判断したものであります。災害対策については、今後、5市町で施設の構造など十分に協議して施設の安全対策を講じていきます。	環境課
41	倉ノ谷	尾鷲の財政状況を考慮すると、職員給与等を大幅に減額すべき。	職員人件費につきましては、平成29年度決算では13億6千977万1千円となっていますが、平成19年度と比較しますと、職員数で31名、人件費で3億7千590万5千円の削減に取り組んでおります。また、人口1万人当たりの職員数も近隣5市町の中で最も少なく、臨時職員においても同様となっておりますが、人口減少が続く中、職員定数については住民の福祉の増進につとめるとともに、最小の経費で最大の効果上げるよう検討してまいります。	総務課
42	倉ノ谷	防災倉庫の過去に支給された消火器、非常食など装備の使用期限が切れている。買い替えは各自治会でということだが財源がない。なんとかならないか。尾鷲市地域防災力向上補助金について、全額ではなく2/3の補助率に改正されたが小さな自主防災会では自己負担できない。要件の見直しを。	平成29年度に、補助金の見直し指針に基づき補助金の適正化を図るべく見直しました。補助率が全額であったものが3分の2になりましたことは申し訳ございませんが、補助率3分の2でも指針に示された補助率を上回っておりますことから、ご理解賜りたくお願い申し上げます。	防災危機管理課
43	倉ノ谷	市マイクロバスを一般利用(子供達のスポーツの市外での大会参加など)出来るようにして欲しい。	マイクロバスは公用車であるため、公務のみの利用に限定しておりましたが、各種団体からの要望により、公務に関連する事業には貸し出しの規定を設けました。しかし、一般利用まで開放すると公務での使用に支障をきたし、またタクシー会社やレンタカー業者の民業圧迫の懸念も生じますので、貸し出しを限定して行っております。	総務課
44	倉ノ谷	尾鷲中学校への給食導入を。いつ頃になるのか。	尾鷲中学校の給食導入については、現在の財政状況や将来の財政負担を考慮し、デリバリー方式、センター方式、自校方式等の事業精査を行っているところであります。	教育総務課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
45	倉ノ谷	尾鷲ヒノキを活用した新しい商品を開発して、ふるさと納税の返礼品に。	尾鷲ヒノキを活用した新しい商品の開発につきましては、現在尾鷲ヒノキ販路開発プロジェクトにおいて、木工製品販売事業及び商業施設木材利用促進事業の中で取り組んでいるところであり、開発した新商品をふるさと納税の返礼品にすることにつきましては、今後検討していきたいと考えております。	水産農林課 (政策調整課)
46	矢浜	広域ごみ処理施設ができれば、屋上を避難タワーの代わりにしてほしい。	避難タワーとしての活用は考えておりませんが、緊急避難場所としての検討は行っていきます。	環境課
47	矢浜	省エネ活動など小さい事から努力し、職員の意識改革をしてほしい。	県や他の自治体より長くクールビズの期間を設けており、電気料金抑制のため庁内電力の監視装置を設置しております。また、公用車の交換時にはハイブリット車を積極的に導入しております。	総務課 (政策調整課)
48	矢浜	お年寄りが高台まで逃げられない。避難タワーを中間地点に作る必要がある。	避難施設等の建設につきましては、東京大学片田教授のご協力のもと「津波避難支援業務」におけるシミュレーションの中で被害軽減効果の高い設置候補箇所を抽出し住民説明会を行いました。 本市の津波避難を考えますと、住民意識が現在の状況であれば、犠牲者が増えるケースがあると片田教授から指摘も受けており、まずは、住民の防災意識の向上を文化として根付かせることが重要であります。 防災教育や防災訓練を通じ避難路の安全性の検証、さらには安全な高台を目指す避難経路を市民と行政が会合を交え検証し、現在行われている住民主導型避難体制確立事業等を旧町内で行うなど、この町の津波避難基本戦略を確立し、その後、補完的に避難施設等の検討を進めるべきであり、これまで行っていた防災意識の啓発といったソフト対策を更に進める事が重要な課題であると認識しております。 津波避難施設の整備については、設置場所や規模も含め、今後も市民の皆様と共に検討し、慎重に進めて参ります。	防災危機管理課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
49	矢浜	台風の際の避難場所で、矢浜コミュニティーセンターの1階のガラスは古くて割れたら危険なので何とかして欲しい。	ご指摘の窓ガラス部分につきましては、ブラインドの取り換えを行い対応する予定としています。	市民サービス課
50	矢浜	矢小、尾中の体育館ではなく、本館1階(津波の際には本館最上階)を避難場所に開放すべき。	南海トラフ巨大地震・津波などの大災害時には、避難者が多数となり、多くの避難所が必要となることが予想されます。そして長期にわたり避難所で過ごすことを得なくなりますことと、また一方で、子供たちの学習の場の早期復旧も考えていかなければなりません。このような観点から、災害の規模に応じた避難所の開設にご理解とご協力を願います。	防災危機管理課
51	矢浜	広報等での避難勧告の時は、各地区の避難場所の開設場所の情報をに入れてほしい。	広報おわせ11月号に掲載しております。 市から「明るいうちの早めの避難」を呼びかけた場合には、中央公民館、福祉保健センター、各コミュニティーセンター(矢浜、向井、須賀利、九鬼、早田、三木浦、三木里、古江、賀田、曾根、梶賀)、市から「避難準備・高齢者等避難開始」を発令した場合、上記に加えて、宮之上小学校、尾鷲高等学校、尾鷲中学校、市から「避難勧告」「避難指示」を発令した場合、上記に加えて、適宜開設します。 また、エリアワンセグでも開設中の避難所情報を放送しています。	防災危機管理課
52	矢浜	避難ビルは耐震強度があるかどうか、市民に知らせるべきではないか。避難ビルの募集の際に松阪とか津とかでは、耐震強度がなければ遠慮してくださいとの一筆が入っている。	本市の地域防災計画で定めている指定津波緊急避難ビルは、ホテルビオラ、NTT尾鷲ビル、あいあいの丘、クラウンコーポ、尾鷲物産株式会社冷凍冷蔵庫で、建築年から耐震性のある建物を指定しています。	防災危機管理課
53	矢浜	昨年11月に国が定めた南海トラフ臨時情報について、尾鷲市民に何事かを知らせなければいけないと思う。	「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」への対応については、国において南海トラフ地震に対する新たな防災対応が定められるまでの当面の間、平成29年10月30日付けで三重県が発出した「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された際の三重県の対応について」に準じて、市民への広報、市有施設等の点検、大規模地震発生後の災害応急対策の確認等を行うこととしています。	防災危機管理課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
54	大滝	100歳のお祝いの市の対応は祝金の振込みだけで心がない。手渡しする等改善を。	市では、100歳及び最高齢者への祝意として、長寿祝金を支給しており、市長が訪問する最高齢者以外の100歳の方には、口座振込で支給を行っています。その理由として、100歳以上の方におかれましては、ご自宅で健在の方以外に、施設や病院で暮らされている方もあり、祝金の支払いを安全かつ確実にを行う目的で口座振込とさせていただいております。また一方では、高齢者の確認を行うため、敬老の日に先立って担当者が直接お伺いする機会がありますので、祝意の方法について、今後検討をさせていただきたいと思っております。	福祉保健課
55	大滝	建物の修繕等が行き届いてないと空き家バンクに登録できないのか。	建物の修繕が必要な場合においても空き家バンクに登録することは可能です。	政策調整課
56	大滝	24時間365日の救急対応等、なんとか総合病院の現在の診療体制の維持を。	現在の尾鷲総合病院の救急医療体制につきましては、三重大学医学部附属病院、伊勢赤十字病院、紀北医師会などのご協力を得て維持しているところです。この24時間365日の救急医療体制を維持することは、当病院の重要な役割であると考えており、引き続き三重大学医学部附属病院等のご協力を得ながら救急医療体制等の維持存続に取り組んでまいります。	尾鷲総合病院
57	向井	あさりの稚貝の放流がここ2・3年行われていない。市の予算がアサリの稚貝のみなので、観光的な面(情報発信を含め)からもっと力を入れて欲しい。	あさり稚貝の放流について、全国的な不漁により、県内だけでなく愛知県や和歌山県にも問い合わせしておりますが購入できず、放流できないことについてお詫びいたします。九州から購入することも検討しておりますが、遠方の稚貝を放流すると、遺伝的に問題が発生し死滅する可能性があるということで、まだ購入できておりません。向井黒の浜の潮干狩りは、ゴールデンウィーク中の観光の目玉の一つであることから、購入先も含め再検討しております。	商工観光課
58	向井	旧町内には尾小、宮小、矢小、向井小の4つも学校があるが、子供が70人しかいないなら1つで良い。	尾鷲市立小中学校適正規模・適正配置計画に基づき、尾鷲地区の小学校は、平成30年9月1日現在の児童数で、尾鷲小学校470名、宮之上小学校116名、矢浜小学校62名、向井小学校22名の4校区としております。	教育総務課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
59	向井	少子化対策としてどのような施策を考えているのか。	市では、少子化対策の基本として、妊娠期から子育て期にわたる途切れのない支援体制を構築し、定住移住につなげる「子育てしたい・しやすいまちづくり」に取り組んでおり、福祉保健センターに「子育て世代包括支援センター」を設置し、母子保健及び児童福祉の充実に取り組んでいます。 具体的な施策としては、出産を希望する夫婦に対する不妊治療費助成や、産後早期より母子への心身のケアと育児サポートを行う「産後ケア」をはじめ、保育園や学童保育、発達支援や児童虐待防止などの充実に取り組んでいます。また、子ども医療費助成では、助成の対象を中学校卒業まで拡大したほか、未就学児に対する「医療費の窓口無料化」を来年度に実施する予定であります。今後も子育て支援の基本となる「子ども子育て支援事業計画」に掲げる取り組みを進めてまいります。	福祉保健課
60	向井	通学路の人形のパネル(飛び出し坊や)が傷んでいるので対策を。	「飛び出し坊や」は、児童が道路に飛び出して、自動車などと接触する事故を防止するために各学校で設置しております。向井地区における老朽化等、破損している個所については取り換えを行いました。	教育総務課
61	向井	ふれあいバスは、向井～天満の方へ回っていくので、病院の時間に間に合わない。天満ではほとんど乗る人がいないので、検討してほしい。	公共交通体系を維持継続するには、地域の実情や事業の採算性を勘案し、より多くの人々が利用しやすい、効率的で効果的な運行体系の構築が重要です。対象地区の利用状況や、他地区の意見も聞きながら検討していきたいと考えます。	政策調整課
62	向井	山が荒れてしまい町に降りてきているが、昔に比べ数が格段に増えている。電気柵などしてもらっているが、もっと獣害対策に力を入れて欲しい。	現在、獣害パトロール員2名を雇用し、被害多発地域の見回り、追い払い用の花火などによる迅速な追い払いや捕獲等を実施しております。また、併せて猟友会の協力のもと捕獲を推進しております。 今後の対策については、要望のある自治会・地区会におきましては、獣害勉強会を随時開催し、獣害に対する知識や対策方法を地域全体で行い、集落ぐるみで追い払いを実施していただける体制作りを行うとともに、猟友会協力のもと、より捕獲強化を図ってまいります。 いずれにいたしましても、野生の動物が相手のことですので、県や専門家等の指導を仰ぎながら、粘り強い対策を進めてまいりたいと考えております。地域の皆様にもご協力のほどよろしくお願いいたします。	水産農林課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
63	向井	賀田の廃船は撤去作業が始まっているが、向井の廃船(畑に置いてあるもの)も撤去して欲しい。	畑に置いてある船については、土地の所有者に、事情を確認します。	環境課
64	大曽根	大曽根の埋立地の将来の使い道は？	埋め立て時点では様々な事業構想がありましたが、現在は一部の区画において水産加工場用地として貸し出しをし、それ以外の区画はイベント等での駐車場としての利用や建設資材置き場などとして占有している状況です。 将来的な土地の有効活用は、今後の課題として取り扱います。	建設課
65	大曽根	コミュニティーバスの停留所が1つしかない。寺の近くからは遠いので増やしてほしい。市場の所にも欲しい。高齢者のバス賃割引(70歳以上半額とか)はできないのか？	公共交通体系を維持継続するには、地域の実情や事業の採算性を勘案し、より多くの人利用しやすい、効率的で効果的な運行体系の構築が重要です。地区内におけるバス停までの距離や、利用量を勘案しながら、検討したいと考えています。 また、高齢者に対するバスの割引は現在ありませんが、運転免許返納者に対する割引を実施しております(運転経歴証明書所持者及び同伴者1名まで、料金半額)。今後の高齢者に対する割引の実施については、事業における採算性や効率性等を勘案しながら、検討していきたいと考えます。	政策調整課
66	大曽根	バスの停留所はテニスコートの所にもあるが、見通しが悪い為、安全な場所へ移動してほしい。 あるいは木の伐採をして欲しい。	見通しも含めた様々な要件を満たした場所にバス停を設置しているものと認識しておりますが、バス運転手への聞き取りを行う等、設置場所について検討いたします。	政策調整課
67	大曽根	お年寄りで病院へ入院した人が「水は飲まないで」とお医者さんに言われて、患者さんも付き添いの人も理由が分からず理解できないでいた。誤嚥の心配を訴えても、納得できる説明がされなかった。しっかり納得のいく説明をすべき。	今回いただいたご意見を院内で共有させていただくとともに、職員のコミュニケーションの向上に係る研修を実施するなど、患者さんやご家族から信頼される病院づくりに取り組んでまいります。	尾鷲総合病院

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
68	泉	保育園跡地、泉町にある医師住宅跡地等を整理して売却すべき。	保育園跡地については、今後の利用計画等を確認しつつ、売却していく方向で進めております。 尾鷲総合病院の管理する泉町医師住宅については、建物6棟中、現在は1棟が入居中ですが、5棟が空室となっている状況です。 尾鷲市では行財政改革委員会において行政財産の売却について検討がなされており、尾鷲総合病院においても泉町医師住宅の整理について、検討を行ってまいります。	財政課 尾鷲総合病院
69	泉	総合病院の外科の待ち時間が長いので改善を。	外科外来では、予約患者さんの状況や入院中の患者さんの病棟回診の状況などにより、診察の待ち時間が長くなる場合があります。 待ち時間の短縮について、院内で検討し、改善に努めてまいります。	尾鷲総合病院
70	第三 保育園	馬越公園は年3回の草刈り等の清掃を自治会が市の補助を受けてやっていたが、高齢化により現在は実施できていないため、公園は荒れ果て恥ずかしい状態。市の方で何らかの方策を。	現在、民間事業者にて委託し、馬越公園の清掃や草刈り等を年2回行っています。 また、10月16日には「尾鷲セラピストの会(尾鷲観光物産協会事務局)」にご協力いただき、安全に通れるよう東屋付近の草刈りが行われております。今後につきましては、本市だけではなく民間の方々にもご協力いただけるような仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えます。	商工観光課
71	第三 保育園	馬越公園の管理に熊野古道森林施業対策基金を利用できないのか。	「尾鷲市熊野参詣道伊勢路における森林施業対策基金」につきましては、熊野古道の周辺において、森林所有者及び林業関係者等が施業を行う場合、施業に係る通常のコスト以上に、熊野古道の利用者との安全調整等を図るために別途必要となる経費を補てんするための基金であることから、ご意見をいただきました内容での利用は対象外となります。	生涯学習課
72	第三 保育園	世界遺産登録から12年経過し、馬越公園の樹木が高くなりすぎて過去の景観が失われている。	今後の馬越公園の景観整備について、民間事業者にて清掃や草刈り等は委託していますが年2回となっていますので、「おわせ海・山ツアーウォーク実行委員会」、「天狗倉山まるごとプロジェクト」、「尾鷲セラピストの会」といった関係団体や民間の皆様とも連携しながら、景観整備を含めた清掃・草刈り等の日を決めて実施することなどを検討していきたいと考えます。	商工観光課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
73	第三 保育園	桜茶屋の桜が古木になっているので新たに植樹をして欲しい。	維持管理が必要となることから、植樹は行っていないのが現状であります。ご理解頂きますようよろしくお願いします。	建設課(県)
74	第三 保育園	災害時の避難情報は避難先等を示してもっと詳しく放送して欲しい。	<p>防災情報を防災行政無線でお伝えしておりますが、簡潔な文書でない伝わりにくいことから、市から発令する避難情報に対し開設する避難所について、次のとおりとすることとし、広報おわせ11月号に掲載しております。これからも防災講話等を通じ周知していきます。</p> <p>市から「明るいうちの早めの避難」を呼びかけた場合には、中央公民館、福祉保健センター、各コミュニティーセンター(矢浜、向井、須賀利、九鬼、早田、三木浦、三木里、古江、賀田、曾根、梶賀)、</p> <p>市から「避難準備・高齢者等避難開始」を発令した場合、上記に加えて、宮之上小学校、尾鷲高等学校、尾鷲中学校、市から「避難勧告」「避難指示」を発令した場合、上記に加えて、適宜開設します。</p> <p>また、エリアワンセグでも開設中の避難所情報を放送しています。</p>	防災危機管理課
75	第三 保育園	第三保育園が避難場所と思っていた。避難場所が分かりにくいので広報等で詳しく周知を。	<p>防災情報を防災行政無線でお伝えしておりますが、簡潔な文書でない伝わりにくいことから、市から発令する避難情報に対し開設する避難所について、次のとおりとすることとし、広報おわせ11月号に掲載しております。これからも防災講話等を通じ周知していきます。</p> <p>市から「明るいうちの早めの避難」を呼びかけた場合には、中央公民館、福祉保健センター、各コミュニティーセンター(矢浜、向井、須賀利、九鬼、早田、三木浦、三木里、古江、賀田、曾根、梶賀)、</p> <p>市から「避難準備・高齢者等避難開始」を発令した場合、上記に加えて、宮之上小学校、尾鷲高等学校、尾鷲中学校、市から「避難勧告」「避難指示」を発令した場合、上記に加えて、適宜開設します。</p> <p>なお、第三保育園も指定避難所としており、地震や津波などの大災害時に活用するなど、災害の規模に応じた避難開設にご理解とご協力をお願いします。</p>	防災危機管理課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
76	第三 保育園	台風被害で通行困難の旨、市に電話したが対応が遅かった。	今年度の台風20号、21号及び24号ではいずれも暴風による倒木が多数発生し、それに伴い道路閉塞や停電など市民の皆様のご生活に支障をきたす事態となりました。関係各課が連携し、早期復旧に向け全力で対応しております。復旧に時間を要することもございますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。	建設課 (防災危機管理課)
77	第三 保育園	台風被害対応の市の依頼を受けたシルバー人材センターの仕事が雑なので改善を。	ご迷惑をお掛けしました。この件につきましては、シルバー人材センター様に改善が図られるようお伝えさせていただきます。	建設課
78	第三 保育園	サル、イノシシ等の獣害被害が多いので、対策に力を入れて欲しい。	現在、獣害パトロール員2名を雇用し、被害多発地域の見回り、追い払い用の花火などによる迅速な追い払いや捕獲等を実施しております。また、併せて猟友会の協力のもと捕獲を推進しております。 今後の対策については、要望のある自治会・地区会におきましては、獣害勉強会を随時開催し、獣害に対する知識や対策方法を地域全体で行ない、集落ぐるみで追い払いを実施していただける体制作りを行うとともに、猟友会協力のもと、より捕獲強化を図ってまいります。 いずれにいたしましても、野生の動物が相手のことですので、県や専門家等の指導を仰ぎながら、粘り強い対策を進めてまいりたいと考えております。地域の皆様にもご協力のほどよろしくお願いいたします。	水産農林課
79	早田	バスの今のダイヤは、後何年位辛抱したら良いのか？バスの終点は駅(三木里駅)にしてほしい。そうしたら、JRが利用できる。	平成31年度中のダイヤ改正を検討しており、様々なご意見等を参考にしながら、精査してまいります。また、現在のダイヤといたしましては、最寄りの九鬼駅のご利用について、ご検討いただきますようお願いいたします。	政策調整課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
80	早田	病院帰り(9時半や10時に診察終了して)にバスを1時まで待つのは、体力的に辛い。「尾鷲駅に停めて欲しい」と言ったのは、雨の日に傘をさして列になってバスを待っていると、バス停前の喫茶店の人に文句を言われたからでJRを利用する為ではない。	現在のダイヤにつきましては、平成28年度に行いました公共交通に係る住民懇談会において、ご意見の多かった事項として、「尾鷲総合病院での会計時間の確保」や、「市街地での買い物時間の確保」があり、1時間程度遅くした経緯があります。また、このバス運行の最大の目的は、幹線系統バスへの接続、通院、通学、通勤であるため、これをベースとし、その他のご意見につきましては、ベースを大きく逸脱することがないように留意しつつ、最大限にご意見を反映できればと考えております。	政策調整課
81	早田	バスの聞き取り調査の時に、不満な点だけを言って、満足しているところは言わないから、不満な点を解消しようとして満足な部分が削られていく。	バスの利便性向上や、ダイヤ改正時の参考とするため、毎年4月に、乗り込みによる聞き取り調査を行っております。今後も調査を継続し、満足・不満どちらの意見も聞き取ったうえで、参考とさせていただきます。	政策調整課
82	早田	三木浦と早田にはJRの駅がなく、バスしかないから、ダイヤを決める時は特別に配慮して欲しい。	このバスの運行の最大の目的は、幹線系統バスへの接続、通院、通学、通勤であるため、これをベースとし、その他のご意見につきましては、ベースを大きく逸脱することがないように留意しつつ、最大限にご意見を反映できればと考えております。	政策調整課
83	早田	台風でバスの運行が中止になった場合、翌日バス再開の放送がない時があった。通院の都合等があるので、早めに情報を得て、確実に再開の放送をして欲しい。	早朝の放送については、時間帯による苦情が多いため、できる限り放送を行わないように心掛けております。また、再開の目処につきましては、夜間に被災状況の確認を行うことができないため、通行止めの解除が、朝1便目に間に合わない場合が多い傾向にあります。このため、ケースバイケースとなりますが、情報の伝達方法について、改めて検討を行いたいと考えます。	政策調整課
84	婦人の会	総合病院の空きベットを介護用に活用できないか。	尾鷲総合病院は医療保険による、主に救急医療を含む急性期機能を担う医療機関としての役割を果たしているところですが、今後も急性期機能の維持と回復期機能の充実が求められています。病院は、医療法に基づき、治療や疾病予防のための措置及びリハビリテーションを提供するものであり、病床を介護用として使用することができないため、現状においては、空きベットの介護活用は困難であると考えます。	尾鷲総合病院

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
85	婦人の会	カテーテル循環器医師の確保を。	現在、当病院では、常勤2名、非常勤1名の循環器内科医師を配置しております。カテーテル検査については、毎週木曜日に予約による検査を行っており、今後も三重大学医学部附属病院等のご協力を得ながら、医師確保に努めてまいります。	尾鷲総合病院
86	婦人の会	九鬼の市営住宅は老朽化のため貸していない。今後活用する方針はないのか。	市営住宅の九鬼団地は木造建築であり対応年数もすでに経過しております。耐震性の課題もあり、今後は建物自体を他用途に使用することが出来ません。そのため、平成29年度に策定した尾鷲市営住宅長寿命化計画に基づき、用途廃止などを実施し集約化を目指します。	建設課
87	婦人の会	災害時、九鬼コミュニティーセンターには職員が配置されるが、漁村センターに避難した場合は職員がいないので、何とかならないのか。	台風に対する九鬼地区での避難所は市の施設であるコミュニティーセンターが指定場所となっています。漁村センターについては、区のご協力のもと避難所として開設して頂いている状況で、地域内に複数の避難所を開設すると配置する職員も必要となることからご理解いただきたいと思っております。	市民サービス課 (防災危機管理課)
88	婦人の会	災害時、避難所(中央公民館、福祉保健センター等)が遠いため行けない高齢者が多い。避難所の設定を再考して欲しい。	避難所の開設につきましては、災害に応じ開設する考えを基本として持っております。台風襲来時には、「明るいうちの早めの避難」を呼びかけるとともに、中央公民館、福祉保健センター等を避難所として開設することとしており、移動距離に長短ございますが、合理的な避難所開設にご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、災害に応じた開設ということで、「避難勧告」「避難指示」の発令時や地震・津波等の大災害時には、適宜避難所の開設をしていきます。	防災危機管理課
89	婦人の会	通学路にある民間のブロック塀の危険箇所を何とかして欲しい。	地震発生時には耐震性のないブロック塀が被害を発生させることがあることから、補助メニューはございませんが、防災講話等で危険性の周知を図るとともに、地域の方々や各学校での取り組みとしてタウンウォッチングを実施し、生活道路や通学路の危険な箇所としてブロック塀を把握するなどして、被害の軽減を図る取り組みを実施しております。また、各小中学校では、従来から通学路の安全点検を行い、児童・生徒への指導を行っているところですが、本年6月に大阪府北部を震源とする地震によるコンクリートブロックの倒壊事故の発生に伴い、改めて「通学路の危険なブロック塀等」の場所の確認とともに、通学路の再点検を行い、教職員の共通理解と児童・生徒への指導を行っております。	防災危機管理課 教育総務課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
90	婦人の会	宮ノ上地区の街灯が消えているため、市民サービス課に連絡したが予算がないという回答。何とかならないのか。	防犯灯の修繕につきましては、限られた予算の範囲内で通学路や避難路を優先的に修繕を行っています。本年度は4月から修繕件数が多かったため、12月議会で修繕費の増額補正を計上していますので、ご迷惑をおかけしますがもう少しお時間を頂きたいと思います。	市民サービス課
91	婦人の会	移住者への対応ばかりでなく、尾鷲在住の若者とも対話の機会を設ける等対策を。	尾鷲高校まちいくとして、地域住民、高校、自治体それぞれの資源を持ち寄り、持続可能な地域人材育成モデルの探求に取り組み、具体的には、三重県立尾鷲高等学校の生徒が地域の現状や魅力ある地域資源についてミッションを与え、その後高校生が地域住民との対話等から情報を収集し、解決を試みるプログラムを継続し実施しております。また移住者のみならず若者との対話の機会も検討してまいります。	政策調整課
92	婦人の会	三重テラスで「南三重したみち よりみちバイク旅」というガイドブックを見つけたが、尾鷲だけ掲載されていないのはなぜか。	平成29年度までは「南三重したみち よりみちバイク旅」に参加しておりましたが、宮リバー度会パークで開催されたバイクフェスティバルでのアンケートにおいて、イベント後に本市に立ち寄る、宿泊するという意見がなく、市内でバイクをよく見かけるようになったとの意見もありましたが、予算に見合う効果が表れなかったと判断し平成30年度は参加しませんでした。	商工観光課
93	婦人の会	広域ゴミ処理施設が完成したらゴミ袋有料化はどうなるのか。	指定ごみ袋制度については、今後のごみ減量化も踏まえ検討するものでありますが、関係5市町で協議する広域のごみ処理施設の手数料と併せて検討していくこととなります。	環境課
94	中央公	市の給水車は何台あるのか。南海トラフ地震等の甚大な災害の場合、応援は都市部に集中するので市の体制を整えておくべきでは。	給水車については、給水タンクが4基あり、トラックに積載して給水を行います。また、災害時の応援体制については、日本水道協会等を通じて、他市町事業体との相互応援協定を結んでおり、激甚な災害の場合においても、水道協会主導で迅速に取りまとめが行われ、都市部などに集中することなく、被災の状況等により応援が行われます。	水道部

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
95	中央公	広域ゴミ処理施設は標高20メートル以上の場所に建てて欲しい。	用地の選定においては、中部電力から将来的に産業の振興等に繋がる街づくりを市と共同でできないかという提案をいただいた中で、本市として、施設を整備するにあたり十分な面積が確保できること、市民の皆さまがごみを持ち込みやすくなること、新たな産業の創出や雇用の拡大が期待できることなど総合的に判断したものであります。災害対策については、今後、5市町で施設の構造など十分に協議して施設の安全対策を講じていきます。	環境課
96	中央公	南海トラフ地震の臨時情報が出た場合のため、市の避難計画を作っておくべきでは。	「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」への対応については、国において南海トラフ地震に対する新たな防災対応が定められるまでの当面の間、平成29年10月30日付けで三重県が発出した「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された際の三重県の対応についてに準じて、市民への広報、市有施設等の点検、大規模地震発生後の災害応急対策の確認等を行うこととしています。	防災危機管理課
97	中央公	尾鷲港周辺地区の高齢者等は避難タワーも無いため5分では逃げられない。スローガンを変更すべき。	本庁舎に掲げている横断幕の防災スローガンは、片田教授のシミュレーション結果に基づき考案されたもので、健康であって、家具の転倒防止や、家屋の耐震性がある場合などの条件が整っている場合には、被災者をなくすことができるものとして、それを目指し、防災対策に取り組んでいきます。	防災危機管理課
98	中央公	第三セクター(指定管理?)はお金がうやむやに浪費される。第三セクターのような形態の事業は止めて欲しい。	おわせSEAモデル協議会において、あらゆる検討を進めておりますが、どのような事業を展開するか現時点では未定であります。ご指摘の件について、しっかり検討を重ねてまいります。	政策調整課
99	中央公	危険な空き家が多く、景観も損なわれている。早急に対策をして欲しい。	本市に寄せられている空き家に対する苦情・相談件数は60件以上あり、5件が解決済となっています。すべてが解決していませんが、引き続き所有者(管理者)に早急な改善をお願いしていきます。進捗が遅く誠に恐縮ですが、空き家の撤去や修繕にかかる多額の費用については所有者(管理者)の負担となっているため、解決に時間を要していることをご理解ください。	市民サービス課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
100	中央公	文化会館の周囲(敷地内)の雑草がひどい。何とかして欲しい。	尾鷲市民文化会館敷地内の除草作業につきましては、指定管理者において、定期的な除草作業を行うとともに、大きな行事が行われる時期等において対応しているところですが、十分な対応にはいたっていない状況も見られることから、今後、市としても、より一層、指定管理状況の確認・評価を行うとともに、指定管理者との連携をより密に取りながら、適切な管理を行ってまいります。	生涯学習課
101	中央公	イベント等に参加する市民はボランティアだが市職員は有償。ボランティア休暇の制度を作るなど働き方の改革を。	活動範囲は災害等に限定されますがボランティア休暇はすでに導入済みであります。また、有償につきましては、年齢構成や所属の関係でイベント関連の応援が多くなる職員もおり、土・日曜の勤務が多くなるため、代休措置を取り入れることやノー残業デーを設けるなど働き方改革に取り組んでおります。	総務課
102	中央公	老朽化した市営住宅は台風時は危険。解体して売却すべき。	老朽化した市営住宅は、平成29年度に策定した尾鷲市営住宅長寿命化計画に基づき、用途廃止などを実施し集約化を目指します。すべての住宅を除却するまでには時間がかかることが予想されますが、鋭意事業を推進してまいります。	建設課
103	中央公	職員給与等を削減すべき。	職員人件費につきましては、平成29年度決算では13億6千977万1千円となっておりますが、平成19年度と比較しますと、職員数で31名、人件費で3億7千590万5千円の削減に取り組んでおります。また、人口1万人当たりの職員数も近隣5市町の中で最も少なく、臨時職員においても同様となっておりますが、人口減少が続く中、職員定数については住民の福祉の増進につとめるとともに、最小の経費で最大の効果上げるよう検討してまいります。	総務課